歯科衛生実践の過程

情報収集	日付	学籍番号	名前
主観的情報(Subjective data:Sデータ)		客観的情報(Objective data	: O データ)
○主訴		○バイタルサイン	
○医科的現病歴		○口腔内写真	
○医科的既往歴		○口腔内外の観察	
○歯科的既往歴		○歯・歯列の観察	
○服薬		○歯周組織の検査	
○栄養状態(食生活を含む)		○口腔衛生状態の検査	
○生活習慣		○エックス線写真	
○心理·社会·行動面		○唾液検査	
○家族歴		○臨床検査	
○その他		○その他	

歯科衛生アセスメントー情報の整理・分類用紙

歯科衛生のニーズ		徴候および症状(整理・分類、歯科衛生診断の	D根拠、評価指標)
困性領土の二人	種類	歯科アセスメント情報	対象者の情報
①身体の健康状	S	さまざまなリスクへの不安の訴え	
態 〈健康上のリスク に対する防御〉	0	□全身疾患 □対診の必要性 □加圧等のバイタルサインの異常 □摂食嚥下障害 □抗凝固薬などの服用 □抗菌薬の前投薬 □緊急処置の必要性 □その他	
②歯科衛生介入 に対する不安や ストレス 〈不安やストレス からの解放〉	S	* ~ への不安/恐怖の訴え □歯科医師の対応 □歯科衛生士の対応 □放射線被爆 □以前の歯科治療の経験 □診療費用 □プライバシー □感染予防 □フッ化物毒性□その他	
③顔や口腔に関する審美的満足度 (顔や口腔に関する全体的なイメージ)	S	* ~の不満の訴え □歯 □口臭 □歯肉 □顔貌 □その他	
	S	□咀嚼困難の訴え	
④ 硬組織の健康 状態 〈生物学的に安定 した歯・歯列〉	0	□歯の欠損□不適合修復□動揺□外傷□吹合性外傷□不適合補綴装置□パラファンクション□咬耗・摩耗・侵蝕□う蝕	
⑤軟組織の健康	S	□□腔内外の疼痛、知覚の訴え	
状態 〈頭頸部における 皮膚と粘膜の 完全性〉	0	□口腔外の病変 □口腔乾燥 □歯肉の発赤、腫脹 □栄養関連の口腔症状 □触診時圧痛 □BOPあり □歯肉歯槽粘膜の病変(付着歯肉、小帯その他) □PPD または AL4 mm以上 □その他	
⑥頭頚部の疼痛 や不快感 〈頭頸部の疼痛か らの解放〉	S	□歯科衛生介入前の疼痛 □歯科衛生介入中の不 □歯科衛生介入前の過敏 快感 □触診時圧痛 □その他	
②口腔健康管理 の知識 〈概念化と理解〉	S	□口腔疾患に対する低い関心 □知識・認識に問題 □歯科衛生ケア、セルフケアに対する低い関心 □その他	
8口腔健康のための行動	S	□不適切な口腔保健行動 □不適切なセルフモニタリンク □過去2年内歯科未受診 □その他	
〈口腔の健康に関する責任〉	0	□プラーク付着 □歯石沈着	

一情報収集メモー

(※患者の基礎疾患、服薬内容、治療経過や特記事項等の内容が多い場合はこちらに記載する。)

実習Ⅲ・Ⅳ 様式 2-①

歯科衛生実践の過程

日付 学籍番号 名前 年齢·性別 主訴 基礎疾患等 服薬の有無・内容 治療経過 特記事項 口腔内所見 歯、歯肉 EPP値 動揺度 口腔清掃状態 う蝕活動性 POR 歯列不正 歯式 不適合修復物 口呼吸 POR 食片圧入 ポケット 値 その他 動揺度 生活習慣 生活習慣 食習慣 口腔清潔習慣 食習慣 口腔清潔習慣 一般的特徴 身体的特徵 口腔の特徴 ライフステージ)期 の特徴 歯科衛生アセスメント〜歯科衛生診断 ※種別(実在型・リスク型・ウェルネス型) 歯科衛生 情報処理—解釈・分析 情報の統合 歯科衛生診断 理由·種別 0 解釈·分析 問題 順位 ニーズ 原因·関連因子 〈診断句〉P 〈原因句〉E

実習 I	п. т	٧.	様寸	ک ک	(2)	
末台I	11 • I	v	Λπ , π\	. J	-(2)	

C-P(ケアプラン): カウンセリング、フッ化物塗布、スケーリング

E-P(教育プラン): ブラッシング指導、食生活指導

			O-P(観察プラン): 対象者の状態・反応、歯肉等の変化
			C-P
	#1		E-P
			О-Р
長期目標	1		'
短期目標		歯科衛生診断	歯科衛生計画
			C-P
	#2		E-P
			О-Р
長期目標			·
短期目標		歯科衛生診断	歯科衛生計画
			C-P
	#3		
	#3		E-P
実習記録(城)			E-P O-P
実習記録(歯	科衛生介え	入) D処置内容	
実習記録(歯	科衛生介え		О-Р
実習記録(歯 S:Subjective (主観的情報)	科衛生介 今回(O-P 変化のステージモデル(TTM)
S:Subjective	科衛生介 今回(O-P 変化のステージモデル(TTM)
S:Subjective (主観的情報) O:Objective	科衛生介 今回(O-P 変化のステージモデル(TTM)
S:Subjective (主観的情報) O:Objective (客観的情報) A:Assessme	科衛生介 今回(O-P 変化のステージモデル(TTM)
S:Subjective (主観的情報) O:Objective (客観的情報) A:Assessme (アセスメント) P:Plan	科衛生介 今回の		O-P 変化のステージモデル(TTM)

歯科衛生計画

歯科衛生計画立案(目標、介入計画)

歯科衛生診断

長期目標

短期目標

^{※1} ①学生は、前日に実習指導者より一つの症例を選んでいただき情報を収集する。②実習当日に見学や実施した内容、追加の情報収集からアセ スメントを行い歯科衛生診断や歯科衛生計画について記入する。③次の日の実習開始までに実習指導者へ提出する。④実習日ごとに用紙を 変えて実施する。ただし、実習の最終日には提出せず大学で提出する。(実習前日に①が行えなかった場合は実習当日に行う)

^{※2} 実習指導者の方へ:ご指導後、押印またはご署名をお願い致します。